

2022. 8. 29

令和4年笛吹市議会第3回定例会の告示に伴う  
記者会見質疑応答（要約）

■記者

補正予算の中に御坂路さくら公園をオートキャンプ場として整備するとありますが、内容をお伺いします。また、今回は、トイレと電源設備とありますが、キャンプ場を整備する費用は既に計上してありますか。

■市長

御坂路さくら公園は利用客が少なくなってしまう、廃止も考えていましたが、建物もありバーベキューなどの設備も整備されているので、オートキャンプ場に生まれ変わらせることができるのではないかとということで、整備することにしました。

■財政課長

元々バーベキュー施設等があり、キャンプができる公園であります。今回はオートキャンプ場ということで、車の乗り入れが可能な12区画を整備します。また近年は、どうしても電源設備がキャンプ場の近くには必要になりますので、電源設備を区画ごとに整備をしていくものです。

また、トイレはキャンプ場の近くに、新設した方が防犯上も良いということから、新たにトイレの設置をするものであります。

■総務部長

公園に池があるのですが、それを埋めて普通の公園にしようという経費が当初予算に計上されていましたが、その予算を使ってこの12区画を整備します。本体の整備をして、それに付帯施設がつくイメージです。

■記者

そうすると池を埋めてオートキャンプ場にすると、池は（新たには）作らないということですね。

■市長

そうです。

■記者

これは、いつ頃の完成、供用を目指していますか。

■財政課長

年度内に工事が終わります。来年4月からは料金の改定を行います。

■市長

指定管理者を新規に募集して、キャンプ場運営の経験のあるところに運営をお願いして、誘客してもらえたらと考えています。

■記者

ちょうど（指定管理者の）更新の時期ということですか。

■総務部長

以前は、公園緑地管理的な維持管理を指定管理者に委託していましたが、ここ2年間は応募がなく、市が直営で管理をしている状況です。

■記者

一般会計補正予算案の5ページの市立保育所の賄材料費、これは給食を作るための材料費って認識でよろしいでしょうか？

■財政課長

そのとおりです。

■記者

ロシアのウクライナ侵攻などで物価が高騰し、予算が不足してしまっているの、市が不足分を負担するということですか。

■財政課長

笛吹市立の保育所については、市に賄材料費の予算がありますので、高騰分を増額補正しています。また、私立保育園等については、それぞれ物価高騰分に、見合うものを市に請求していただいて、補助金として交付するものです。

■記者

市立保育所は一律10%を予算計上、私立保育園等は申請してもらい10%補助ということですよいいですか。

■財政課長

そうです。

■記者

浅川中学校の補修が必要な箇所とは。

■財政課長

浅川中学校の改修工事につきましては、躯体を残して内装外装を改修する長寿命化の工事をしていましたが、工事の過程で、校舎のモルタル部分を撤去したところ、中のコンクリートの表面に砂利などの骨材などが露出している箇所やコンクリートの欠損、ひび割れなどが多数見つかри、これが当初の想定より多く生じていることが判明したため、これらの躯体の補修工事をするための費用となっています。

■記者

期間は変更となりそうですか。

■財政課長

年度内には校舎の工事を終わらせまして、来年度はグラウンドの擁壁等の工事になります。

■市長

基本的に工期に変更はありません。

いつまでもプレハブの仮校舎での勉強では、生徒たちに申し訳ない。来年4月からは新しい校舎で勉強できるはずですよ。

■記者

春日居支執務室を春日居図書館事務室内に移設にとありますが、いつごろ工事をするのか、この経費は何のため経費なのか教えてください。

■財政課長

今回、災害時の現地拠点施設となる春日居支所が移転するため、移転先のあぐり情報ステーションに、災害発生後 72 時間の停電に対処できる機能を備えた発電機にするための追加費用です。また、これについては、発電機が納品まで 6 ヶ月と期間がかかることから、繰越明許費の設定をあわせておこなうものです。

■記者

移転して新しく始まるのはいつごろを目指していますか。

■財政課長

建設工事完成後、来年 5 月に引越し作業の予定になっています。

■記者

来年 5 月に引越しの準備が整い次第始めるということですか。

■総務部長

工事は 3 月中に終了しますが、来年 3 月から 4 月にかけて県議会議員選挙があります。支所は期日前投票や選挙事務を行いますので、選挙が終わってから、引越しをしたいということで、完成時期と供用開始時期が若干ずれるということでございます。

■記者

危機管理アドバイザーはどのようなことを行いますか。

■市長

職員の不祥事などもあり、職員に対し危機管理に関する能力という部分で教育をしてもらおうと考えています。常勤でなく、1 回 1 万円として、6 回分の 6 万円を計上しました。

■記者

御坂農村環境改善センターの解体事業が、施設の一部にアスベストが含有されていたために、また補正を積み上げたということですが、どういうふうなことをやって、工期に変更など出てくるのかどうか、具体的な内容についてと、ふれあいの家事業のところにも、アスベストの調査項目費用等が不足することから追加計上するとありますが、何か関連があるのかという 2 点について伺います。

■財政課長

御坂農村環境改善センターについては、解体工事自体は令和 5 年度の予定となっていますが、アスベスト等で解体工事に期間を要するというので、令和 4 年度中に、解体のための設計を終了し令和 5 年度には解体工事に入るため、今回の補正となっています。

■記者

工程そのものには影響ないということよろしいですか。

■財政課長

はい、予定どおりです。

2番目の質問に関してですが、こちらは、同じく令和5年度に解体工事を行う予定で、今年度については、解体工事の設計業務委託を計上していましたが、アスベストの調査項目等の費用の不足が見込まれることから、費用を追加したものです。

■市長

どちらもアスベストが使用されていて、解体工事の設計項目ということですが、特に関連があるわけではありません。

■記者

ふるさと納税の広告宣伝費について、こんなところに力を入れますなど、具体的にあれば教えてください。

■企画課長

寄附額の獲得、更なる増額に向けて、富裕層に向けた宣伝活動として、都市部のタワーマンション等にポスティングする冊子への広告掲載とメールマガジンの配信を考えています。また、検索連動型の広告を6月に続いて寄附が多くなる12月にも行う予定です。

■記者

私立保育所等施設整備事業ですが、石和東こども園は、現在工事中だと思いますが、木の花保育園もでしょうか。

■財政課長

私立保育所等施設整備については、3歳未満児の定員を増やすことにより、園児数が増えますので、園舎の入り口部分等に部屋を増築する改修工事を行うものに対して補助を出すものです。

■記者

これは今年度工事するのですか。

■

そうです。

以上